

# FAO Newsletter

2008年4月  
Vol. 25



今月の統計

食料危機に直面して  
対外支援を必要と  
している国

2008年3月 36カ国

発行：(社)国際農林業協働協会(JAICAF) www.jaicaf.or.jp 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階 TEL：03-5772-7880 Email：fao@jaicaf.or.jp

Contents

目次

■FAO、ノルウェーの種子貯蔵庫完成を歓迎  
■人類の生存には生物多様性が不可欠  
■アフリカの森林保全、地球温暖化対策にも重要  
■穀物生産量は大幅に回復、しかし価格は高値を維持か

■南部アフリカの水害で100万人が被災の恐れ  
■鳥インフルエンザ対策、インドでの評価  
■「最後のフロンティア」の漁業管理  
■世界の化学肥料の供給が需要を上回る

■FAO、ガザ地区の農民を支援  
■日本政府(農水省)とのトラスト・ファンド年次協議  
■国際女性の日2008：「女性と女兒に投資するということ」

環境

Environment



## FAO、ノルウェーの種子貯蔵庫完成を歓迎 北極圏山腹のトンネルに主要な作物種子を保存



▲氷結した山腹に建てられた貯蔵庫。永久凍土と厚い岩盤が種子を保存する

ディウフFAO事務局長は、世界の重要な作物種子サンプルを保存する目的でノルウェー領スヴァールバル諸島に建設された種子貯蔵庫の開設式に出席し、人類に大きく貢献する画期的な試みであると評価しました。多様な作物遺伝資源の保存は、将来の穀物増産や、気候変動、病虫害などの環境ストレス軽減にとって不可欠です。「食料・農業植物遺伝資源条約」に基づき、ノルウェー政府の資金拠出により建設されたこの施設は、凍結した山腹に建設され、厚い岩盤に守られているため、仮に冷凍システムが故障しても種子を冷凍保存することが可能です。運営を行う世界作物多様性財団は、途上国の種子の輸送なども支援します。貯蔵庫は450万の種子サンプル（20億個相当）を蓄える容量があり、すでに20万以上の種子の受け入れが決定しています。（2/25、スヴァールバル／ノルウェー）

関連ウェブページ

Arctic Seed Vault : [www.croptrust.com](http://www.croptrust.com)  
International Treaty on Plant Genetic Resources for Food and Agriculture : [www.planttreaty.org](http://www.planttreaty.org)  
Seed Portal : [www.nordgen.org/sgsv](http://www.nordgen.org/sgsv)  
Norwegian Ministry of Agriculture and Food : [www.regjeringen.no/en/dep/lmd/campaign/svalbard-global-seed-vault.html?id=462220](http://www.regjeringen.no/en/dep/lmd/campaign/svalbard-global-seed-vault.html?id=462220)

## 人類の生存には生物多様性が不可欠 貧困と飢餓に対する緊急措置を喚起

2月に行われた「第13回科学的・技術的助言に関する補助機関会合（SBSTTA）」の開会式において、バトラーFAO事務局次長は、人類の生存と暮らしに必要な不可欠である生物多様性の保護を呼びかけました。この会議では、農業および森林の生物多様性に関するプログラムの実施、農業における生物多様性の持続可能な利用ガイドラインの適用、気候変動と農業の生物多様性の関係の解明、海洋・沿岸・内陸部の水生生態系における生物多様性、外来種の侵入といった問題に焦点を定めた議論を進めています。生物多様性の問題を農林水産業において主流化させることは、食料増産を促すだけでなく、次世代に健全な自然資源を残すことにつながります。

（2/18、ローマ）



▲バトラーFAO事務局次長

関連ウェブページ

13th meeting of the SBSTTA of the Convention on Biological Diversity : [www.cbd.int/sbstta13](http://www.cbd.int/sbstta13)  
Calendar of side events : [www.cbd.int/sbstta13/side-events/?mtg=SBSTTA-13](http://www.cbd.int/sbstta13/side-events/?mtg=SBSTTA-13)  
FAO's Natural Resources Management and Environment Department : [www.fao.org/nr/index\\_en.htm](http://www.fao.org/nr/index_en.htm)  
2010 Biodiversity Target : [www.cbd.int/2010-target](http://www.cbd.int/2010-target)

## アフリカの森林保全、地球温暖化対策にも重要

ハルツーム（スーダン）において、初めての中近東林業委員会およびアフリカ林業・自然保護委員会合同会議が開催され、大臣を含む政府関係者、NGO、国連機関など、50カ国以上から約160名が参加しました。この会議でFAOは、主として熱帯地域での森林伐採により温室効果ガスの17%が排出されていることを明らかにし、アフリカでの森林保全が地球温暖化対策にとってきわめて重要であることを訴えました。アフリカでは、

伐採された樹木の80%以上がエネルギーとして消費されています。一方、中近東では木材を輸入に頼っており、エネルギーは石油に依存しています。このような現状をエネルギー政策の観点から討議するほか、アフリカで深刻な問題となっている森

林火災への対策も話し合われる予定で、これらの課題に対する資金提供や国際協力も重要な議題となります。(2/18、ハルツーム/ローマ)

食料事情

Food Situation



## 穀物生産量は大幅に回復、しかし価格は高値を維持か

2008年度の世界穀物生産量は大幅に回復する見込みがあるものの、ほとんどの穀物の国際価格は昨年からの高値を維持、もしくは更新する見込みです。冬穀物の作付け拡大と欧米の主要生産国において続く好天候などの要因が生産量の増大を後押しする一方、減少を続ける在庫と高まる穀物需要が国際価格を高騰に導いています。また、特にEU圏で飼料用の粗粒穀物需要



©FAO/22432/O. Thullier

▲2008年1月の小麦価格は昨年比83%上昇した

が急上昇していることから、世界の穀物貿易量は2007-08年度にピークを迎えると予測されています。低所得食料不足国(LIFDC)では、2007-08年度の穀物輸入量は約2%減少する見込みですが、商品価格と輸送費の高騰から、輸入額は35%程増加する恐れがあり、アフリカの一部の国ではこれをさらに上回る負担が予測されます。国内の食料消費への打撃を緩和するため、輸出入国の双方が、関税の引き下げや食料補助金の引き上げなどの対策を打ち出し始めています。(2/13、ローマ)

関連ウェブページ

Crop Prospects and Food Situation report : [www.fao.org/docrep/010/ah881e/ah881e00.htm](http://www.fao.org/docrep/010/ah881e/ah881e00.htm)

World Food Situation portal : [www.fao.org/worldfoodsituation](http://www.fao.org/worldfoodsituation)

Global Information and Early Warning System : [www.fao.org/gIEWS](http://www.fao.org/gIEWS)

FAO and emergencies : [www.fao.org/emergencies](http://www.fao.org/emergencies)

アフリカ

Africa



## 南部アフリカの水害で100万人が被災の恐れ

前年の水害から復興途上にあったザンベジ川流域のマラウイ、モザンビーク、ザンビア、ジンバブエの4ヵ国において、昨年12月半ばに例年よりも1ヵ月早く雨期が始まり、すでに約45万人の家屋、収穫に被害が出ています。今後3月末まで激しい雨が続くと、100万人の生活に影響が及ぶと予想されており、避難民支援や、家畜・人への感染症対策などが求められています。また、この地域で重要な収入源となっている養殖魚の感染症対策も必要です。FAOとその連携機関は、緊急支援活動のために8,900万ドルの援助要請を

発表しました。FAOは農具や種子の配布、魚の養殖や家畜の回復を支援するなどの取り組みに加え、自治体・NGOが地域の公共サービスを担っていくための支援や地域コミュニティのキャパシティ・ビルディング支援も訴えています。(2/21、ローマ)

関連ウェブページ

Southern Africa appeal 2008 : [www.fao.org/emergencies/tce-appfund/tce-appeals/appeals/emergency-detail0.html?uidf=2106&tx\\_ttnews%5Btt\\_news%5D=2876&tx\\_ttnews%5BbackPid%5D=1388&cHash=a](http://www.fao.org/emergencies/tce-appfund/tce-appeals/appeals/emergency-detail0.html?uidf=2106&tx_ttnews%5Btt_news%5D=2876&tx_ttnews%5BbackPid%5D=1388&cHash=a)

FAO appeal proposals : [www.fao.org/fileadmin/templates/tc/tce/pdf/Southern\\_African\\_FAO\\_Proposal.pdf](http://www.fao.org/fileadmin/templates/tc/tce/pdf/Southern_African_FAO_Proposal.pdf)

OCHA appeal document : [www.fao.org/fileadmin/templates/tc/tce/pdf/Southern\\_African\\_Region\\_2008.pdf](http://www.fao.org/fileadmin/templates/tc/tce/pdf/Southern_African_Region_2008.pdf)

FAO and emergencies : [www.fao.org/emergencies](http://www.fao.org/emergencies)

鳥インフルエンザ

Avian Influenza



## 鳥インフルエンザ対策、インドでの評価 継続的な監視体制が必要

FAOは西ベンガルで発生・拡大していた鳥インフルエンザについて、今後も高度危険地域で継続的な監視活動が必要であるとしながらも、抑制されつつあることを評価しました。主に庭先養鶏セクターでの疫病早期発見と、インド政府の政治的・経済的支援や大衆向けの啓発キャンペーン、自治体間の連携、経

済支援の強化そして現場での獣医師・医師間の連携などが、今回の抑制の鍵となったとしています。2008年2月以降、新たな感染例の報告はありません。しかしながら、ウイルスが内在している可能性も十分あり、また、外部から新たな持ち込みの恐れもあることから、引き続き警戒が必要とされます。(2/27、ローマ)

関連ウェブページ

Avian influenza : [www.fao.org/avianflu](http://www.fao.org/avianflu)



## 「最後のフロンティア」の漁業管理 深海生物の保護について国際会議

世界53カ国とECは、乱獲の危機にさらされている深海生物の保護に向けて話し合いを始めました。FAOの取りまとめにより、責任ある深海漁業および領海外に生息する深海生物や生態系の保護を目指し、国際的なガイドラインを制定する予定です。深海漁業は比較的新しい産業活動で、資金・技術両面において相



▲金目鯛のような深海魚は漁業の影響を受けやすい

©U.S. Geological Survey

当の投資が必要とされますが、深海資源の保護に関し適切な政策を確立している国は多くありません。また、経済水域外での深海生態系の管理には多国間の連携が不可欠です。深海魚は通常成長が遅く、必ずしも毎年繁殖をしないため、漁業の影響を受けやすく、また一度バランスを崩すと元の状態に回復するのに何世代もかかってしまいます。一連の会議を通して、各国が独自に、また他国と協調して、持続可能な深海漁業を促進し、海洋生態系を保全できるような体制を整えていきます。(2/15、ローマ)

### 関連ウェブページ

Info on deep sea resources : [www.fao.org/fishery/topic/12356](http://www.fao.org/fishery/topic/12356)  
Report on deep sea fishing (large file, zip archive) : <ftp://ftp.fao.org/docrep/fao/010/a1341e/a1341e.zip>

## トピックス

## Topics



## 世界の化学肥料の供給が需要を上回る

FAOの報告書「Current World Fertilizer Trends and Outlook to 2011/12」によると、世界の化学肥料は、今後5年間に供給が需要を上回り、食料やバイオ燃料の生産増加を支えることになる見込みです。最近の商品価格の高騰に伴う生産の増加により、化学肥料の利用が増加し、肥料価格の上昇につながっています。食用作物や畜産物、バイオ燃料への需要の高まりを満たすために、化学肥料の供給も、2007年8月から2011年12月の間に、年率3%にあたる3,400万トン増加する見込みで、年率1.9%の需要増をカバーすることができると予測されています。(2/26、ローマ)

### 関連ウェブページ

World fertilizer trends and outlook to 2011/12 (pdf) : <ftp://ftp.fao.org/agl/agll/docs/cwfto11.pdf>  
Fertilizers and plant nutrition : [www.fao.org/ag/AGP/AGPC/doc/themes/5a.html](http://www.fao.org/ag/AGP/AGPC/doc/themes/5a.html)

## FAO、ガザ地区の農民を支援

現在、ガザ地区では人口の8割が食料援助に頼っており、FAOは農産物の復興と農業者の生活立て直しを支援する一連の緊急プロジェクトを実施しています。さらに西岸地区とガザ地区において、農産物の増産や生活改善等を目指した14のプロジェクトを行っているほか、鳥インフルエンザの発生に対処するための小規模プロジェクトも実施しています。プロジェクトには日本等から1,000万USドルが提供されましたが、FAOはプロジェクトの更なる遂行のために、国連を通じて730万USドルを追加要請しています。(2/21、ローマ)

### 関連ウェブページ

Aid appeal : [www.fao.org/emergencies/tce-appfund/tce-appeals/consolidated-appeals/west-bank-and-gaza-strip.html](http://www.fao.org/emergencies/tce-appfund/tce-appeals/consolidated-appeals/west-bank-and-gaza-strip.html)  
FAO's work in the West Bank and Gaza Strip : [www.fao.org/emergencies/country\\_information/list/middleeast/westbankandgazastrip.html?id=1307](http://www.fao.org/emergencies/country_information/list/middleeast/westbankandgazastrip.html?id=1307)

## 活動情報

## Activities



## 日本政府(農水省)とのトラスト・ファンド 年次協議

3月11、12日、タイのバンコクでトラスト・ファンド(信託基金)に関する日本政府(農水省)とFAOの年次協議が開催されました(日本事務所より横山所長出席)。この会議で、農水省側は、2008年度において、約520万ドルをFAOに拠出する予定であることを明らかにしました。

農水省のFAOに対するトラスト・ファンドは、特にアジア太

平洋地域に集中しており、この地域では、日本が最大のドナー国になっています。

2008年度の新規のプロジェクトは、「持続的水資源利用の分析に関する研究」「アジアにおける植物遺伝資源の保存及び持続的利用のため



▲会議出席者(後列左から4番目が横山所長)

©FAO/RAP

のキャパシティ・ビルディングと地域協力の拡大」「地域漁業管理機関の機能の強化等のための支援」の3本となっています。

アジア太平洋地域は、世界の飢餓人口の約3分の2に当たる5億2,400万人の飢餓人口を抱えており、FAOと日本政府は、今後とも協力しながら、飢餓、貧困の削減や農業開発、さらには、津波からの復興支援、鳥インフルエンザの拡大防止などの課題に取り組んでいくことを確認しました。また、FAO側は、最近の食料価格の高騰が貧困国の食料安全保障に深刻な影響を及ぼしており、この問題に対し、今年、日本で開催されるTICAD IVやG8サミットにおいて重要事項として討議されるべきであることを指摘しました。

## 国際女性の日2008：「女性と女兒に投資するということ」



▲パネルディスカッションの様子

Photo: akifoto inc.

3月10日、FAO日本事務所と在日国連機関は「国際女性の日」を記念して、公開フォーラムを共同開催し、300名以上が参加しました。今年のテーマは「女性と女兒に投資するということ」。

女性は、世界で消費される食料の半分を生産しているにもかかわらず、所有する農地は全体の1%に過ぎないなど、世界の貧困による負担の多くを女性が抱えています。フランベア国連児童基金レソト事務所長と勝間経済評論家による基調講演、およびルワマシラボ駐日ルワンダ大使、橋本多摩美術大学教授、若杉早稲田大学大学院教授、大崎国連開発計画東京事務所アドボカシー・スペシャリストらによるパネルディスカッションでは、そのような現状とともに、生産、持続可能な経済成長、そして健全な社会経済と文化や政治の活性化に欠かすことのできない女性と女兒への投資の重要性について、活発に討論が行われました。

また、FAOローマ本部では、「国際女性の日」を記念して、気候変動と男女平等への課題に関するシンポジウムが開催されました。

### 関連ウェブサイト

International Women's Day 2008 : [www.unu.edu/iwd](http://www.unu.edu/iwd)  
 Newsroom : Climate change a further challenge for gender equity: [www.fao.org/newsroom/en/news/2008/1000809](http://www.fao.org/newsroom/en/news/2008/1000809)

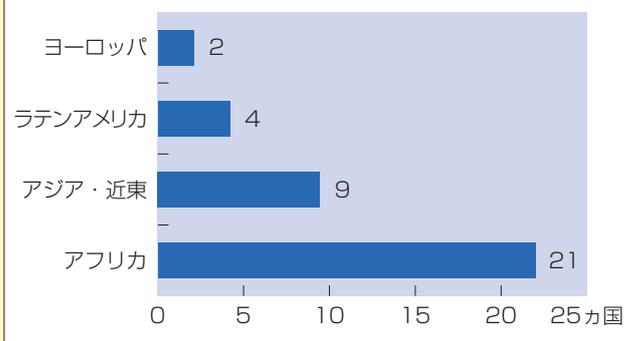
### 4月の活動予定

※青字は日本国内

- 4/8-11 Global Agro-Industries Forum, New Delhi
- 4/14-18 30th Latin America and the Caribbean Regional Conference, Brasilia, Brazil
- 4/24 アフリカ農業開発シンポジウム—アフリカ農林水産業の現状と日本の協力—(東京・国連大学) 農水省主催、FAO 日本事務所ほか後援

## 今月の統計をよむ

### 食料危機に直面して対外支援を必要としている国



FAOでは、食料安全保障を確保する観点から、世界の食料需給を監視し、早期の警報を発する「世界食料情報・早期警報システム (GIEWS)」を運営しています。この早期警報システムの下で、現在、食料危機に直面して対外支援を必要としている国は36カ国あります。特に、アフリカ諸国については、53カ国中約4割に当たる21カ国が食料危機に直面しています。

最近の全般的な食料価格の高騰は、これらの国を含め、低所得食料純輸入国に深刻な影響を及ぼしており、FAOでは、これからの2作期において国内市場での食料供給を緊急に増大させるため、「高騰する食料価格に対するイニシアティブ (Initiative on Soaring Food Prices, ISFP)」を提唱し、開発途上国の取り組みとドナー国の支援を呼びかけています。このイニシアティブは、特に、クーポンの供与などにより、貧困農家の種子、肥料等の生産資材の入手を支援し、生産拡大につなげていこうとするものです。

(FAO日本事務所長 横山 光弘)

## テレフード募金にご協力をお願いします

募金は、アジアやアフリカの食料不足の地域で、貧困農民の食料増産を支援する「テレフード・プロジェクト」に使用されます。

郵便振替口座

**00140-1-29732**

(FAO飢餓撲滅草の根募金)

※振替手数料無料。ご寄付は税金控除の対象となります。



## メールニュース配信のお知らせ

FAO日本事務所では、FAOに関する各種情報をEメールで不定期に配信しています。ご希望の方は下記までご連絡ください。

[FAO-Japan-Info@fao.org](mailto:FAO-Japan-Info@fao.org)

## ニュースレターの配付について

本紙は、季刊誌「世界の農林水産—FAOニューズ—」とセットでJAICAFの会員にお送りしています。ご希望の方はJAICAFまでお申し込みください。

※ニュースレターは指定場所でも配布しています。